

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

新潟県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
新潟県立三条高等学校	新潟県教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
新潟県立三条高等学校	https://sanjou-h.nein.ed.jp/about/

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

・ 一部、計画通り実施できていない

・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

大学等と連携するなど、実施体制の充実を図ることにより、特別の教育課程を円滑に実施することができている。また、1人に1台ずつ配備されたタブレット端末を活用して、情報活用能力や思考力、表現力等の育成を目指し、実践研究している。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

・ 実施していない

<特記事項>

1年に1度、学校評議員会の場において、特別の教育課程に関する説明をしている。さらに、保護者が集まるPTA行事や学校説明会等で、特別の教育課程についての文書を配布したり、説明したりするなど、授業の目的等について情報を提供している。また、それらの場で、「WWL情報」についてのアンケートを実施することで、学校評議員や保護者等の意見を取り入れ、より良い実践に向けてのフィードバックができるようにしている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、世界（グローバル）と地域（ローカル）の両方の視点から、社会において自分に取り組むべき課題を見だし、探究活動をとおして集めた情報や客観的データを分析し、解決策や新たな価値を創造するとともに、自分の考えやアイデアを積極的に他者と共有することで、周囲の協力を得て課題解決に貢献しようとする態度を育むことを目的として実施している。

本特例を実施する中で、生徒の探究活動をとおして集めた情報や客観的データを分析すること、課題解決に貢献しようとする態度は定着している。

一方で、多方面からの視点を取り入れた考察が不十分である点などが課題であると考えている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

「情報Ⅰ」を「WWL情報」で代替し、総合的な探究の時間と並行して履修させ、探究活動と連動して「情報Ⅰ」に係る内容を学習することで、情報活用能力を実践的に身につけさせながら効果的に探究活動を進めることができた。

具体的には、「WWL情報」2単位を、1学年時に1単位、2学年時に1単位の履修とし、2学年時は2人担任制で授業を行っている。授業の内容は、「総合的な探究の時間（グローバル探究）」において自分に取り組むべき課題を見出し、長岡技術科学大学、三条市立大学等と連携して考察・研究・検証を繰り返しながら探究活動を進めるための客観的データの収集と集めたデータを分析するスキルを養っている。また、1人に1台ずつ配備されたタブレット端末を活用して、場所を選ばずにより高度な学びを実現し、情報活用能力や思考力、表現力等の育成を目指し、実践研究している。

一方で、考えや意見を提示する際のスキルが不十分である点が課題であると考えている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえて、多方面からの視点を取り入れた客観的な考察を行わせることや、提示する際のスキルの向上を図るという方向で本特例の改善を図ることが必要と考えられる。そのためには、新潟県統計グラフコンクールなどの、外部のコンクールに応募するなどし、客観的に探究活動を進めるためのデータの収集の手法や、集めたデータを分析するスキルを養うとともに、実際に発表する体験を通して、自分の考えを他者に伝える能力の向上を図る必要があると考えている。

令和7年度 特別の教育課程の実施に係る学校評価結果について

新潟県立三条高等学校

4段階評価（4：高評価）

4：よく当てはまる

3：だいたい当てはまる

2：あまり当てはまらない

1：まったく当てはまらない

学校関係者評価結果

【生徒（1学年 243名、2学年 236名、3学年 243名）】

（質問1）

「WWL情報」で学習した「データの活用」を、WWL事業や探究活動（G探）で活用した。または活用する見込みである。

	1 学年	2 学年	3 学年	全校
評価の平均	3.38	2.77	2.69	2.99
評価4の割合	47.1 %	23.3 %	20.0 %	31.6 %
評価3の割合	47.1 %	43.3 %	42.2 %	44.3 %
評価2の割合	2.9 %	20.0 %	24.4 %	15.2 %
評価1の割合	2.9 %	13.3 %	13.3 %	8.9 %

（質問2）

「WWL情報」で学習した「パワーポイント等を利用したプレゼンテーション」を、WWL事業や探究活動（G探）で活用した。または活用する見込みである。

	1 学年	2 学年	3 学年	全校
評価の平均	3.03	2.97	2.96	2.99
評価4の割合	26.7 %	37.1 %	38.8 %	34.2 %
評価3の割合	53.3 %	28.6 %	26.5 %	36.7 %
評価2の割合	16.7 %	28.6 %	26.5 %	22.8 %
評価1の割合	3.3 %	5.7 %	8.2 %	6.3 %

(質問 3)

「WWL 情報」の学習内容は、WWL 事業や探究活動（G 探）だけでなく、将来に生かせる幅広い学習内容だと思う。（「分からない」を除く）

	1 学年	2 学年	3 学年	全校
評価の平均	3.42	3.29	3.21	3.29
評価 4 の割合	47.2 %	48.8 %	42.1 %	44.1 %
評価 3 の割合	47.2 %	34.1 %	40.4 %	43.0 %
評価 2 の割合	5.6 %	14.6 %	14.0 %	10.8 %
評価 1 の割合	0.0 %	2.4 %	3.5 %	2.2 %

(質問 4)

「WWL 情報」で得た知識やの学習内容は、探究活動（G 探）に必要なデータを分析するスキルの育成や、そのデータを適切に活用したプレゼン能力を育むことに繋がっている。

	1 学年	2 学年	3 学年	全校
評価の平均	3.49	3.22	3.19	3.31
評価 4 の割合	51.4 %	43.9 %	46.6 %	48.4 %
評価 3 の割合	45.9 %	34.1 %	29.3 %	35.8 %
評価 2 の割合	2.7 %	22.0 %	20.7 %	13.7 %
評価 1 の割合	0.0 %	0.0 %	3.4 %	2.1 %

【学校評議員（6 名）・保護者（回答 287 名）】

(質問 1)

「WWL 情報」は、本校の特色である WWL 事業や探究活動（総合的な探究の時間）に密接に活用できる内容を取り扱っている。

評価の平均	3.34
評価の平均（学校評議委員の方のみ）	3.67
評価 4 の割合	40.0 %
評価 3 の割合	55.2 %
評価 2 の割合	3.8 %
評価 1 の割合	1.0 %

(質問 2)

「WWL 情報」の学習内容は、WWL 事業や探究活動だけでなく、将来に生かせる幅広い学習内容を取り扱っている。

評価の平均	3.36
評価の平均（学校評議委員の方のみ）	3.50
評価 4 の割合	45.5 %
評価 3 の割合	46.8 %
評価 2 の割合	6.4 %
評価 1 の割合	1.4 %

(質問 3)

「WWL 情報」の学習内容「プログラミング」や高大連携事業を活用した取組みは、生徒の探究活動に必要なデータを分析するスキルの育成や、そのデータを適切に活用したプレゼン能力を育むことに繋がっている。

評価の平均	3.25
評価の平均（学校評議委員の方のみ）	3.67
評価 4 の割合	38.5 %
評価 3 の割合	53.7 %
評価 2 の割合	6.0 %
評価 1 の割合	1.8 %